

◆授業のポイント◆

- ・ 既習事項を生かした言語活動の工夫（「Opinion Time」）
- ・ 学習意欲の向上や学習習慣を確立させるための工夫（辞書を意欲的に活用させるための工夫）

英語科学習指導案

日時 平成22年6月4日（金）1校時
学級 3年1組（男子18名 女子19名 計37名）
授業者 教諭 松山エリ

1 単元

NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3
Unit 3 “Our Sister in Nepal”

2 単元について

本単元は、ネパールのフォスタープログラム（里親制度）を通じた若葉中学校の生徒とネパールのミーナとの交流が取り上げられている。地球上には貧富の差が依然として存在し、世界の総人口の80%の人々は発展途上国に生を受け、今なお貧困から抜け出せないでいる。ネパールも経済的には発展途上国であり、保健衛生や教育の面等で様々な問題を抱えている。そのような世界の状況を知り、フォスタープログラムへの関心を高め、ネパールの少女との交流を通して先進国と発展途上国との生活の違いを知ることは、異文化の人々とスムーズなコミュニケーションを図る上で重要である。言語材料としては、現在完了形の経験・完了や不定詞の形容詞的用法・副詞的用法が扱われている。これらの言語材料を活用し、生徒は自分の体験について述べたり、友達に質問をしたりして、現在のことだけではなく過去にさかのぼって友達と対話ができる内容となっている。

本学級の生徒は、全体的に英語学習に対して意欲的で、授業の際には自主的に発表する姿が見られ、授業中に行なわれる英語での質疑応答では、解答することにやや時間がかかるような場面でも、周りとの協力して答えようとしている。授業の初めに行う学期トピック作文では、英語を使って自分の意見を相手に伝えようとしているが、うまくコミュニケーションがとれない生徒もやや見られる。また、自己表現する際には、文構造に誤りがある生徒も見られる。

指導にあたっては、ネパールの生活について理解させ、彼らの生活について考えさせ、友達と意見交換させたい。意見交換では、自分の考えを持たせるために、フォスタープログラムについて補足の資料を提示したり、視覚的にネパールの生活を提示したりしながらすすめたい。単元のまとめとして、ネパールのミーナからの手紙を読み取り、彼女への返事を書かせたい。その際には、不定詞の形容詞的用法を使って、日本での生活の様子を表現させたり、現在完了形を使って、今まで頑張ってきていることについて表現させたりしたい。また、自己表現活動の際には、生徒の英文の正確性を高めるために見届けを工夫したい。

国語科との言語活動の関連として、2年生で学習した「読み取ること」の「図表などを用いた説明や記録の文章を読み取ること」が挙げられる。

3 単元の目標

- (1) フォスタープログラムやミーナの生活について、積極的に読み取ったり、既習の事項を用いて表現したりしようとしている。
- (2) 読み取った内容を基に、既習の表現を用いてミーナへ返事を書くことができる。
- (3) 本文の内容を読み取り、ミーナの生き方や考え方についての友達の意見を聞き取ることができる。
- (4) フォスタープログラムやミーナの生活について知っている。

4 単元の指導計画

【Goal of Unit 3：ネパールについて知り、ミーナの手紙に返事を書こう】（は本時扱いを示す）

	主な学習内容	指導の重点				基礎的・基本的な知識・技能を 活用させるための工夫
		L	S	R	W	
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 単元の学習計画の確認 ・ 新出語句 (Starting Out・Dialog) ・ 概要理解 ・ 新出の文構造 (現在完了形) 	○		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の文章作成 1学期のトピック「自分のお気に入り」 ・ 新出の文構造を用いた口頭練習
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Starting Out) ・ 「Opinion Time」 	○	◎		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の文章作成 ・ 概要把握 ・ 「Opinion Time」における意見交換
第3時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Dialog) ・ 「Opinion Time」 	○	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 概要把握
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 新出語句 (Reading for Communication1, 2) ・ 新出の文構造 (不定詞) 		◎	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 新出の文構造を用いた口頭練習
第5時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Reading for Communication1) ・ 「Opinion Time」 	○	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の文章作成 ・ 概要把握
第6時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ 内容理解 (Reading for Communication2) ・ 「Opinion Time」 	○	○	◎		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 概要把握
第7時	<ul style="list-style-type: none"> ・ Daily Training (学期トピック作文) ・ ミーナへの手紙の作成 ・ 単元の総まとめ 		○	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学期トピック作文の口頭練習 ・ 既習事項を用いた本文に関する意見交換

5 単元の評価規準

I コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	II 表現の能力	III 理解の能力	IV 言語や文化についての 知識・理解
ア フォスタープログラムについて積極的に理解しようとしている。 イ 新出の文構造を意欲的に用いようとしている。 ウ 間違いを恐れずに、既習の表現を使って友達と意見交換をしようとしている。 エ 本文の内容に対する自分の考えや意見を意欲的に表現しようとしている。	ア 既習の表現を用いて自分の考えやその理由を書くことができる。 イ 新出の文構造を適切に使用することができる。 ウ 読み取った情報を基に自分の考えや意見を話すことができる。 エ ミーナへの返事を書くことができる。	ア フォスタープログラムについて読み取ることができる。 イ バザーの様子について読み取ることができる。 ウ ミーナの生活について読み取ることができる。 エ 友達の意見を理解することができる。	ア 新出単語の意味・用法を知っている。 イ フォスタープログラムについて知っている。 ウ ミーナの生活について知っている。 エ 意見交換の仕方を知っている。

6 本時の実際 (2 / 7)

(1) 目標

- ① 既習の表現を用いてフォスタープログラムについて積極的に自分の考えを表現しようとしている。
- ② フォスタープログラムについて、自分の意見を友達に話すことができる。
- ③ フォスタープログラムや友達の意見について理解することができる。
- ④ 自分の意見を伝えたり、相手に意見を求めたりする表現を知っている。

(2) 鹿児島 Standard レベル

学 習 の ね ら い		
Step	Skill	Description
4	Strategy 4	会話を続けるために、相づちを打つことができる。
		Really? I see. Oh, do you? 等を使える。
4	Strategy 6	読んだり書いたりする時に、知らない語句などを調べるために、自分で辞書を活用できる。
		学期トピック作文に必要な語句などを調べる。
4	Reading 4	説明文・物語・Eメールを読み、書き手が最も伝えたいメッセージや概要を理解できる。
		概要把握のための質問に答える。
4	Speaking 3	聞いたり読んだりしたことに対して、友達や先生に英文 1～2 文程度で意見や感想を述べるができる。
		Because ~. I think ~. 等を用いて述べる。
4	Writing 1	身近なトピックについて、思い・考え・意見・理由などを 4 文程度で書くことができる。
		「自分のお気に入り」について表現する。

(3) 授業設計の工夫

- ① 既習事項を生かした言語活動の工夫 (「Opinion Time」)
 理解した内容に対する自分なりの意見や感想を生徒同士で述べ合う場として、「Opinion Time」を設定することにした。この活動を通して、生徒は、意見交換の仕方や自分の考えをまとめ表現する力を高めることができると考えた。具体的には、教科書の本文を読み取ったあとに、“Are you interested in a foster program?” に自分の考えを答えさせ、どうしてそう思ったか理由まで表現させる。この活動で自己表現する場が増え、基礎的・基本的な知識・技能を効果的に活用させることができ、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成できると考えた。
- ② 学習意欲の向上や学習習慣を確立させるための工夫 (辞書を意欲的に活用させるための工夫)
 学期トピック作文で自分の考えを自由に表現するために辞書の活用を進めている。意図的に辞書を活用する機会を生み出すことで、生徒は辞書を活用し、家庭学習において意欲的に学期トピック作文に取り組みると考えた。今学期のトピックである「自分のお気に入り」について説明する言語活動では、有用性の高い未習の語については、全体で共有し発表語彙として導入することにした。そうすることで、より効果的な語彙の習得をさせることができると考えた。

(4) 展 開

時間(分)	学 習 過 程	主な学習活動	指導上の留意点と評価 ㊦ 基礎・基本の定着 ㊧ 興味・関心・意欲・態度の育成 ※ 授業のポイント ◎ 評価項目 ○ 留意点
8	1 Greetings 2 Daily Training	1 日常会話を含んだあいさつをする。 2 学期トピック作文の5月のまとめをする。	㊧ 英語学習の雰囲気を作る。 ※ 未習の語が見られた場合は、全体で共有し、次時の英作文の課題として全体に提示する。 ◎ 3文程度で表現することができたか。(Ⅱーア)
37	3 Today's Goal 4 Comprehension 5 Reading Aloud 6 Opinion Time 7 Presentation 8 Writing a Comment	3 本時の学習目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">フォスタープログラムについて知り、友達と意見交換しよう</div> 4 フォスタープログラムについて読み取る。 ア 教科書の内容を読み取る。 イ スキーマを活性化させ、概要をとらえさせた後に、フォスタープログラムの内容を読み取らせる。 5 本文を音読する。 6 本文の内容について意見交換する。 ア フォスタープログラムについて自分はどうか判断する。 イ 自分の判断に理由付けをしたり、考えを付け加えたりしながら意見交換をする。 7 対話を発表する。 8 自分の意見をノートに書き取らせる。	㊧ 学習目標を把握させ、意欲的に学習に取り組ませるようにする。 ※ 口頭で内容把握をさせる。 ※ ネパールの写真を提示し、スキーマを活性化させる。 ○ 内容理解のための質問を通して内容を整理しながら具体的に理解させる。 ◎ 本文の内容やフォスタープログラムについて理解することができたか。(Ⅲーア) ○ 内容を整理しながら音読させる。 ○ 生徒の多様な考えを引き出し、題材を基に自分の考えを述べさせる。 ㊦ 友達の考えや意見を聞き取り、それについて相づちや聞き返しをさせる。 ◎ 聞き取った内容を理解できたか。(Ⅲーエ) ※ 考えやその理由を表現させる際に、Daily Trainingで使った表現を使用させる。 ◎ 意欲的に意見交換ができたか。(Ⅰーウ, Ⅱーウ) ○ 複数のペアに発表させる。 ㊦ 自分の意見をワークシートに正確に記録させる。
5	9 Consolidation 10 Self-Evaluation 11 Notice 12 Greetings	9 本時のポイントを確認する。 10 自己評価をする。 11 次時の予告を聞く。 12 終わりのあいさつをする。	○ 本時の内容を整理させ学習内容を定着させる。 ※ 「E-card」を活用し、自宅で復習すべき点や学習内容を明確にする。 ㊧ 学習の見通しをもたせ、次時への学習意欲を喚起する。